

First Star

☆一番星☆

東広島市立原小学校

第6学年 学級通信

令和6年 11月8日

11月1日（金） 参観・懇談ありがとうございました

11月1日（金）は、道徳参観日でした。「たった一つの命だから」というお話から、「命を大切にすることはどういうことなのか」について考えました。

このお話は、活発で元気な中学生の西尾誉佳が骨の髄までになってしまい、亡くなるまでの間、どんなことを思い、どんなことをしたのかが書かれている話です。

学校の帰り道にごみ拾いをする誉佳さん。腕を切断するかどうかを決断するときに、両親の気持ちを思い、「いいよ。」と答える誉佳さん。「たった一つの命だから」と年賀状に書き記した誉佳さん。その年賀状が自殺しようとしていた人を助けることになったというエピソード。どの出来事も子ども達の心に響き、「命を大切にすること」についてじっくりと考えていました。

参観の後の懇談会では、「帰ってから子どもと話したい。」「淡々と過ぎていく日常の中で、改めて命について考えることができた。」「親の立場で話を聞き、誉佳さんの行動に涙が出た。」というご意見をいただきました。

子ども達は、自分の考えをノートにまとめてグループで交流したり、タブレットを使って「たった一つの命だから」の続きを考えたりして、命を大切にすることはどういうことなのか深く考える時間になりました。

